市民調査

小平市の教育に関するアンケート調査

1 ご自身について

問1 あなたのお住まいはどちらですか。（1つに○）

1. 中島町	2. 上水新町	3. たかの台	4. 小川町	5. 栄町	6. 小川西町
7. 小川東町	8. 上水本町	9. 上水南町	10. 喜平町	11. 津田町	12. 学園西町
13. 学園東町	14. 仲町	15. 美園町	16. 回田町	17. 御幸町	18. 鈴木町
19. 天神町	20. 大沼町	21. 花小金井南町	22. 花小金井		

問2 あなたの性別を教えてください。（1つに○）

1. 男性	2. 女性	3. 答えたくない

問3 あなたの年齢を教えてください。（1つに○）

1. 18～19 歳	2. 20～24 歳	3. 25～29 歳	4. 30～34 歳
5. 35～39 歳	6. 40～44 歳	7. 45～49 歳	8. 50～54 歳
9. 55～59 歳	10. 60～64 歳	11. 65～69 歳	12. 70～74 歳
13. 75～79 歳	14. 80 歳以上		

問4　現在、仕事をされていますか。（雇用形態は問いません）（1つに○）

1. している	2. していない

問5　一緒にお住まいの方についてお聞きします。（1つに○）

1. 小学生・中学生がいる	2.「1」以外の人がいる	3. 一緒に住んでいる人はいない

2 小平市の教育について

問6　第二次小平市教育振興基本計画を知っていますか。（1つに○）

1. 内容を知っている	2. 聞いたことはあるが、内容は知らない	3. 知らない、わからない

問7　第二次小平市教育振興基本計画に掲げている12の基本的施策のうち、あなたが重視するものを選んでください。（あてはまるもの3つに○）

1. 確かな学力の向上
   （主な取組：授業改善の促進、小・幼・保の連携の推進、読書活動の推進）
2. 健やかな体の育成
   （主な取組：体育的な活動の充実、健康教育の推進、食育の推進）
3. 豊かな心の育成
   （主な取組：人権教育の推進、道徳教育の充実、いじめ防止の推進、不登校対策の充実）
4. 自立心の養成
   （主な取組：キャリア教育の充実、情報モラル教育の推進、外国語教育・国際理解教育の推進）
5. 一人ひとりを大切にし共に学ぶ教育の充実
   （主な取組：小平市特別支援教育総合推進計画の推進、就学相談・教育相談の充実）
6. 教員の資質向上
   （主な取組：教員研修の充実、服務事故防止の取組の徹底、学校における働き方改革の推進）
7. 学校の経営力向上
   （主な取組：コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進、専門機関等との連携、学校施設を核とした地域コミュニティとの連携）
8. 家庭教育への支援
   （主な取組：家庭教育に係る相談体制の充実、家庭における読書活動の推進）
9. 地域総がかりでの教育の推進
   （主な取組：小平地域教育サポート・ネット事業の推進、こどもの居場所に係る取組の充実、青少年対策地区委員会による青少年健全育成活動の支援）
10. 教育環境の整備
    （主な取組：計画的な学校施設の整備、ICT環境の整備・充実）
11. 多様な学びをつなぐ生涯学習の推進
    （主な取組：公民館事業企画委員会による企画講座の実施、図書館を通じた市民の学ぶ機会の拡充）
12. 生涯学習を通じた地域づくりの推進
    （主な取組：地域の伝統文化の継承と推進、伝統・文化への理解促進）

3 生涯学習や公民館・図書館などの利用について

問8 「生涯学習」とは、人々が生涯のいつでも、どこでも、自分の意思で自由に行う学習活動のことで、学校教育や地域の図書館・公民館における講座等の学習機会に限らず、自分から進んで行う学習やスポーツ・文化活動・趣味・ボランティア活動などにおける、様々な学びのことを言います。あなたは、「生涯学習」ということばから、どのようなイメージを持ちますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 生活を楽しみ、心を豊かにすること
2. 趣味や教養を高めること
3. 生きがいを充実させること
4. 健康の増進や体力づくりをすること
5. 仕事に必要な知識や資格を得ること
6. 家庭や社会、人権等の問題を理解して、解決の方法を学んだり、考えたりすること
7. ボランティア活動等を行い、地域や社会のために貢献すること
8. 講座や教室等の学習活動へ参加すること
9. 学校における学習活動のこと
10. 幼児期から高齢期まで、生涯を通じて学ぶこと
11. その他(　　)
12. イメージするものはない、わからない

問9 あなたは、生涯学習の必要性を感じますか。(1つに○)

1. 感じる
2. どちらかといえば感じる
3. あまり感じない
4. 感じない

問 10-1 この1年間に、生涯学習※を行いましたか。(1つに○)

※ここでの生涯学習とは、「趣味や教養、仕事などのために知識や技能を習得するための活動」です。

1. 行った
2. 行わなかった →問 11 へ

→問 10-2 【問 10-1で、「1」に○をつけたときに答えてください】

どのような場所で行いましたか。(あてはまるものすべてに○)

1. 公民館やスポーツ施設などの公共施設
2. カルチャーセンターやスポーツクラブなどの民間の施設
3. 学校(高等・専門・各種学校、大学、大学院など) の正規課程
4. 学校(高等・専門・各種学校、大学、大学院など) の公開講座など
5. 職場
6. 図書館
7. 博物館・美術館
8. 自宅
9. カフェ・飲食店
10. その他(　　)

→問 10-3 【問 10-1で、「1」に○をつけたときに答えてください】

どのような形態で行いましたか。(あてはまるものすべてに○)

1. 講座や教室などに出向いた
2. 職場で実施する教育、研修を受講した
3. 同好者が自主的に行っている集まり、サークル活動に参加した
4. 個人で書籍などを使用して学習した
5. 個人でラジオやテレビを視聴して学習した
6. 個人で情報端末やインターネットを利用して学習した
7. 施設に見学等に出向いた
8. ボランティア活動を行った
9. 職業訓練・職業教育を受けた
10. その他(　　)

問 10-4 【問 10-1 で、「1」に○をつけたときに答えてください】
あなたは、何のために生涯学習をしていますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 人生を豊かにするため	2. 家庭・日常生活に活用するため
3. 自由時間を有効に活用するため	4. 健康の維持・増進のため
5. 他の人との親睦を深めるため	6. 現在の仕事や将来の就職・転職などに役立てるため
7. 地域や社会をよりよくするため	8. その他（　　）
9. 特に理由はない	

問 10-5 【問 10-1で、「1」に○をつけたときに答えてください】
あなたは、生涯学習で得た知識・技能・経験をどのように生かしていますか。
（あてはまるものすべてに○）

1. 仕事や就職	2. ボランティアや地域の活動
3. 資格の取得	4. 生活の潤いや生きがいづくり
5. さらなる知識・技能の向上	6. 他の人の学習やスポーツ、文化活動などの指導
7. 自分の豊かな人生	8. 自分の健康の維持・増進
9. その他（　　）	10. 特にない、わからない

問 11 あなたが今後学習してみたいと思う分野は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 趣味的なもの（音楽・美術・華道・舞踊・書道・レクリエーション活動など）
2. 教養的なもの（文学・歴史・科学・語学など）
3. 社会問題に関するもの（社会・時事・国際・環境・エネルギー・人権など）
4. 健康・スポーツ（健康法・医学・栄養・ジョギング・水泳など）
5. 家庭生活に役立つ技能（料理・洋裁・和裁・編み物など）
6. 子育て・教育に役立つもの（家庭教育・幼児教育・教育問題など）
7. 職業上必要な知識・技能（仕事に関係のある知識の習得や、資格の取得など）
8. 情報端末（コンピュータやタブレット端末など）やインターネットに関すること（プログラムの使い方、ホームページの使い方など）
9. ボランティア活動のために必要な知識・技能
10. 自然体験や生活体験などの体験活動
11. 学校（高等・専門・各種学校、大学、大学院など）の正規課程での学習
12. その他（　　）
13. 特にない、わからない

問 12　あなたは、どのような条件が整えば、生涯学習を行いますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 図書館や公民館、スポーツ施設が身近にあれば
2. 指導者が身近にいれば
3. 気軽に参加できる、気に入った教室やイベントが開催されれば
4. 一緒に参加できる家族・仲間がいれば
5. 年齢・技術レベルに対応した内容があれば
6. 施設の利用時間が合えば
7. 休暇（自由時間）が増加すれば
8. その他（　　）

問 13　生涯学習についての情報をどのような手段で得ていますか。（あてはまるものすべてに○）

1. ポスター・チラシ・パンフレット
2. 市報
3. 自治会・PTA・こども会などからのお知らせ（回覧板・掲示板など）
4. テレビ・ラジオ
5. 新聞・雑誌・タウン情報誌
6. 友人・知人
7. インターネット（小平市のホームページ）
8. インターネット（小平市のホームページ以外）
9. 小平市のSNS
10. その他（　　）

問 14　生涯学習についてどのような情報発信を望んでいますか。（あてはまるものすべてに○）

1. ポスター・チラシ・パンフレット
2. 市報
3. 自治会・PTA・こども会などからのお知らせ（回覧板・掲示板など）
4. テレビ・ラジオ
5. 新聞・雑誌・タウン情報誌
6. 友人・知人
7. インターネット
8. FacebookやX（旧Twitter）などのSNS
9. その他（　　）

問 15　市が設置する次の施設の利用状況について、お聞きします。

（それぞれあてはまるもの1つに○）

施設名	利用状況			
	週に 1 回以上 利用する	月に 1～3 回 利用する	年に数回 利用する	利用して いない
公民館	1	2	3	4
図書館	1	2	3	4
市立小・中学校の校庭や 体育館等	1	2	3	4

4 小平市の学校教育について

問 16　小平市のこどもに、どのような人になってほしいと思いますか。（あてはまるもの3つまでに○）

1. 思いやりがある	2. 協調性がある
3. 確かな学力がある	4. 他人を認められる
5. 心身がたくましい	6. 我慢強さがある
7. 自立心がある	8. 自ら学び、考え、主体的に行動する力がある
9. 創造性が豊かである	10. 適切な判断力がある
11. その他（　　）	12. 特にない、わからない

問 17　小平市の学校教育で特に力を入れてほしいことは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 学力向上	2. 体力向上
3. 防災・防犯などの安全対策	4. 校長など管理職の学校経営能力・リーダーシップの向上
5. 教員の資質向上	6. 学校施設・設備の充実
7. 保護者や地域の意見の反映	8. 家庭教育への支援
9. 地域との協力・連携	10. 情報化や国際化、キャリア教育※1 などを取り入れた特色ある教育
11. 幼稚園・保育園、小学校、中学校の相互の連携	
12. いじめ・不登校対策	13. 特別支援教育※2
14. 学校や教育委員会に関する情報の提供・発信の充実、積極的なPR	15. ICT機器を活用した教育の充実
16. 多文化共生に向けた教育の充実	17. 体験活動の充実
18. その他（　　）	19. 特にない

※1　キャリア教育……社会的、職業的自立に向けて必要な能力や態度を育てる教育。

※2　特別支援教育…学習面または生活面で特別な支援を必要とする児童・生徒に、適切な指導と必要な支援を行う教育。

問 18　小平市では、学校を核とした地域づくりに向けて、学校・家庭・地域の連携・協働を進めています。そのために、今後どのような取組が必要だと思いますか。

（あてはまるものすべてに○）

1. 学校だよりやホームページなどにより、学校やこどもの様子を積極的に公開する
2. 学校の教育目標や取組を、地域の方々に知らせる
3. ゲストティーチャー※1 や部活動の指導者など、外部の人を学校に招く
4. 登下校時の見守りや本の読み聞かせ、校内環境整備など様々な活動を行う地域住民等のボランティアを積極的に受け入れる
5. 地域の施設などを利用した校外学習を進める
6. 地域の方々や保護者が学校の運営が適切に行われているかを評価する
7. 教育やこどもの問題について、学校・家庭・地域が話し合う場を設定する
8. 放課後や休日に、学校の施設を積極的に開放する
9. その他（　　）
10. 特にない、わからない

※1　ゲストティーチャー・・・・・小・中学校、公民館などからの依頼に対し、地域の方などが講師として活躍しています。

5 地域のことについて

問 19　地域の方とのつながりをどの程度もっていますか。（1つに○）

1. 多くもっている	2. 適度にもっている
3. あまりもっていない	4. ほとんどもっていない

問 20　ふだん、あなたは地域のこどもとどのように接していますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 会ったときにあいさつをしている	2. 会ったときに声をかけたり話をしたりしている
3. 良いことをしているところを見たときはほめている	4. 悪いことをしているところを見たときは注意をしている
5. 困ったときや悩んでいるときに相談にのっている	6. 地域の活動を一緒にしている
7. スポーツや音楽などを教えている	8. 地域の祭りやイベントで交流している
9. 接する機会がない	
10. その他（　　）	11. 接したいと思わない

問 21-1　あなたが、今後、地域の学校に対して協力してみたいと思うことは何ですか。
（あてはまるものすべてに○）

1. 自分が持つ知識･技能を教える	2. 通学路における登下校時の見守り活動
3. 部活動の指導	4. 花壇や植え込みの手入れなどの環境整備
5. 読み聞かせや図書の整理･貸し出し	6. 運動会や文化祭など学校行事の支援
7. 授業や調理実習指導の補助などの学習支援	8. 昔遊びなどを通じた交流
9. 上記以外のボランティア活動（　　）	
10. その他（　　）	
11. 協力したいことはない	

問 21-2 【問 21-1 で、「11」に○をつけたときに答えてください】
「協力したいことはない」理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 内容に興味がないから	2. 健康上の理由から
3. 時間がないから	4. 面倒だから
5. 知っている人がいないから	6. きっかけがつかめないから
7. その他（　　）	8. 特に理由はない

問 22　あなたは、学校、家庭、地域が連携･協力するためには何が必要だと思いますか。
（最もあてはまるもの1つに○）

1. それぞれの役割分担を明らかにすること	2. それぞれの情報を共有すること
3. 定期的に話し合う場を設けること	4. 学校･家庭･地域をつなぐ人がいること
5. コミュニティ･スクール※1を推進すること	6. PTA活動を活性化すること
7. 地域の人々がこどもの学習支援やこどもたちとの交流を行うこと	
8. 地域でのイベント等を学校や関係機関等と協力して行うこと	
9. その他（　　）	

※1　コミュニティ･スクール…学校と地域住民などが協働しながら学校の運営に取り組む仕組み。

6 小平市の今後の生涯学習のあり方について

問 23　令和3年3月 26 日に国史跡に指定された鈴木遺跡を知っていますか。（1つに○）

1. 知っている　　2. 知らない

問 24　小平市の文化財について、どう思いますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 市の貴重な財産であり、保護・PRを積極的に行うべきだ
2. 市の文化財が、こどもなど次世代に引き継がれることを望む
3. 市の文化財があることについて、よく知らない
4. 市の文化財については、あまり関心がない
5. その他（　　）
6. 特にない、わからない

問 25　あなたは、人々の生涯学習をより盛んにしていくために、小平市はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 生涯学習を支援する地域の人材（コーディネーター、リーダーなど）を把握・発掘する
2. 専門的知識をもった職員を配置する
3. 社会教育関係団体、青少年団体などのボランティア活動を支援する
4. 市内で活動する団体同士が知り合う場の提供、仕組みづくりを行う
5. 市内の施設が連携して、学習の機会を増やす
6. 講座参加者の交流が出来るように職員がサポートする
7. 大学や研究機関との連携による講座を提供する
8. 図書館でインターネットを活用した読書活動を充実させる
9. 学校図書室やグラウンドなど、学校をもっと地域に開放する
10. 学校での学習において、地域や社会を支援する活動を取り入れる
11. 小平市のホームページで生涯学習情報を充実させる
12. 講座をインターネットで予約できるようにする
13. FacebookやX（旧Twitter）などのSNSで情報を発信する
14. 特にない　　15. わからない

最後に、小平市の教育に関してご意見などがあれば、ご記入ください。

以上で終了です。ご協力いただき、ありがとうございました。

ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒に入れて、**11 月 19 日（木）まで**にご投函ください。